

防除指針 II

11. 花き (参考資料)

花き

作物	農薬名	特性	対象雑草名	使用上の注意事項
ゆり チューリップ しゃくやく	トレファノサイド乳剤 トリフルラリン 44.5%	非ホルモン型の除草剤であり、根部及び幼芽部から吸収され、側根の形成を阻害したり幼芽部の細胞分裂を阻害し発生を抑制する。	一年生雑草 (ただし、ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)	1. 作物にはかからないように使用する。 2. トンネル、ハウス内での使用は避ける。 3. ゆり、チューリップでは苗を移植したもの、また、植付けた球根が地上に出ているものには使用しない。
つつじ類 つばき類	サターンパアロ粒剤 ベンチオカーブ 8.0% プロメトリン 0.8%	非ホルモン型の接触兼移行性の除草剤である。	一年生雑草	1. 雑草発生前までに使用する。 2. できるだけ作物にかからないように散布する。

12. 樹木類 (参考資料)

樹木類

作物	農薬名	特性	対象雑草名	使用上の注意事項
樹木類	バスタ液剤 グルホシネート 18.5%	非ホルモン型吸収移行性の非選択性除草剤であり、体内に移行し、グルタミン合成酵素の作用を阻害し、アンモニアを過剰に蓄積させ光合成を阻害し殺草する。	一年生雑草	1. 散布液が対象花木等にかからないように散布する。 2. 散布直後の降雨は効果を減ずる。
樹木類	トレファノサイド乳剤 トリフルラリン 44.5%	非ホルモン型の除草剤であり、根部及び幼芽部から吸収され、側根の形成を阻害したり幼芽部の細胞分裂を阻害し発生を抑制する。	一年生雑草 (ただし、ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)	1. 作物にはかからないように使用する。 2. トンネル、ハウス内での使用は避ける。
樹木等	キレダー ACN 25.0%	非ホルモン型接触性の除草剤で、土壌中の移動性は小さい。	ゼニゴケ	1. 作物にはかからないように使用する。